

報道関係者各位
プレスリリース

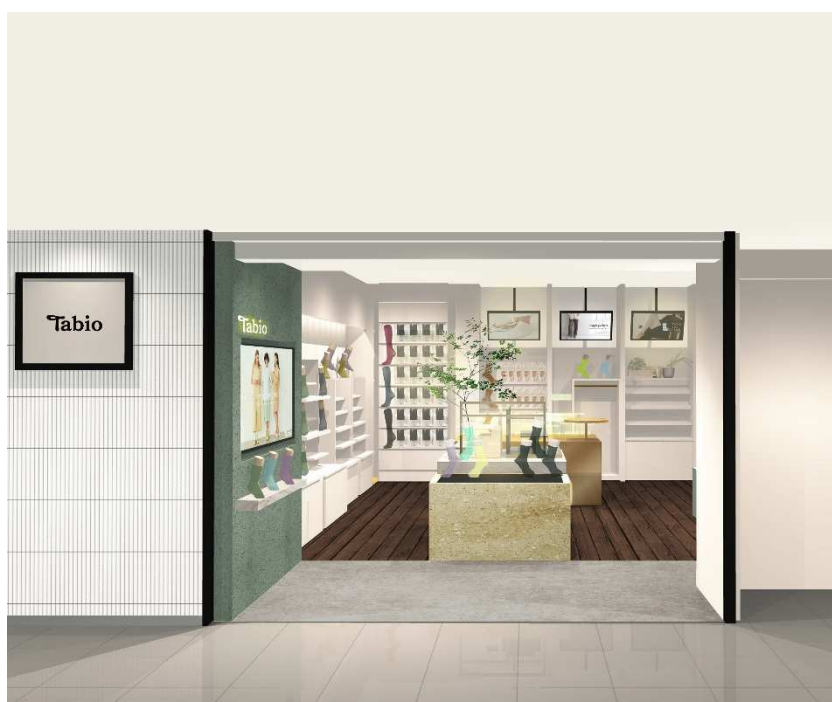


2021年4月21日

タビオ株式会社

環境配慮型商品軸に、ジャパंकオリティのレグウェアを発信 Tabio 名古屋ビルヂング店、4/28（水）オープン

「靴下屋」「Tabio」「Tabio MEN」などの靴下専門店を全国で運営・展開し、Made in Japan ならではの、繊細なはき心地と、デザイン性を兼ね備えた靴下を企画・販売するタビオ株式会社（本社：大阪市浪速区、代表取締役社長：越智勝寛）は、2021年4月28日（水）、名古屋ビルヂング（名古屋市中村区名駅）のB1Fに、「Tabio 名古屋ビルヂング店」をオープン。名駅エリアから、環境配慮型商品をはじめとするジャパंकオリティのレグウェア（靴下）を、名古屋地区の大人の女性たちに発信します。



■出店の狙い

「Tabio」は、洗練された働く大人の女性をターゲットに、高感度な商業施設や百貨店で、確かな素材と職人技に裏打ちされたジャパंकオリティのレッグウェア（靴下）を展開している靴下の専門店業態です。

今回は、近年相次いで大型の商業施設がオープンし、マーケットが活性化している注目の名古屋・名駅エリア、そんな同エリアでも代表的な商業施設に数えられる大名古屋ビルヂングへ出店することにより、「Tabio」ブランドの認知を、名古屋地区のより幅広いお客様に広げ、ブランド価値のさらなる向上を図ります。

■店舗の特徴

「Tabio 大名古屋ビルヂング店」では、「サステナブル」をテーマに、店装も森林のグリーンを基調とします。また今春デビューした環境配慮型の2商品グループを打ち出します。

1) FOOD TEXTILE（フードテキスタイル）



豊島株式会社と食品企業の取り組みにより、廃棄予定の食材から抽出した染料で、ベースとなるオーガニックコットンを染めた優しい色合いの糸を使ってできた、「フードテキスタイル」プロジェクトの靴下（税込み 1,430～1,980 円）。

<https://tabio.com/jp/corporate/news/press/2021/8739/>

2) Triporous FIBER™（トリポーラス ファイバー）

ソニー株式会社が独自開発した米の籾殻由来の消臭性に優れた多孔質炭素材料を、繊維アパレル分野に応用した「トリポーラスファイバー」を使い、デザインと配色にそのカラー特徴を活かした靴下（同 1,320～1,650 円）。



<https://tabio.com/jp/corporate/news/press/2021/8786/>



この他にも、花と植物をモチーフにした同店限定のプリントソックス（写真・左。同各 2,090 円）や、ランニング用をはじめとするスポーツソックス、はき心地にまでこだわった機能性商品などを提案します。

さらに、メンズの基本アイテムについても、併せて取り扱います。

オープン時には、税込み 3,300 円以上お買い上げのお客様に、先着で「FOOD TEXTILE」のコースターをプレゼントします（なくなり次第、終了）。

■店舗概要

店 名：Tabio 名古屋ビルヂング店

所 在 地：名古屋市中村区名駅 3-28-12 名古屋ビルヂング B1F

店舗面積：11 坪

営業時間：11:00～20:00（平日／土日祝 ※当面の間）

取扱商品：レディース、メンズ、タビオスポーツ、レッグラボ

■タビオ株式会社(東証第二部証券コード：2668)

タビオ株式会社は 1968 年の創業以来、50 年以上にわたって「靴下をはいていることを忘れてしまうような“第 2 の皮膚”」をめざし、追求してまいりました。繊細な はき心地の靴下をつくるために、商品は、長年の経験と技術を積んだ日本の職人たちが一つひとつ丁寧に編み立てています。現在では日本全国で「靴下屋」「Tabio」「Tabio MEN」などの靴下専門店を 256 店舗（2021 年 3 月末時点）展開しています。

また「Tabio」名の店舗をパリ、ロンドンなどにも展開中で、Made in Japan のはき心地とデザイン性は、ファッションの本場パリでも高い評価を得ています。

○事業内容

靴下の企画・卸・小売、直営店（靴下屋・タビオ・タビオオム）の展開、フラン
チャイズチェーン（靴下屋）の展開

ホームページ：<https://tabio.com/jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

■タビオ株式会社 広報室

e-mail：press@tabio.com

担当：平野

TEL：06-6632-1200(代)

FAX：06-6632-1402